

## 藤沢市部長経営戦略宣言2009

「一生住み続けたいまち湘南藤沢」を創造するため、藤沢市教育委員会教育総務部では、教育長との合意のもと、平成21年度の政策目標を次のとおり決めました。1年間を通し、目標達成に向け、組織一丸となった取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。



平成21年 5月 1日

藤沢市教育委員会 教育総務部長 田中 一次

### 1 目標設定にあたっての基本的な考え方

現在、教育をめぐる状況として、子どもの学ぶ意欲や学力の低下、問題行動、家庭・地域の教育力の低下など多くの課題を抱えています。教育委員会は、目指すべき教育の姿として、「学校教育ふじさわビジョン」・「生涯学習ふじさわプラン」の見直しを図りながら教育の振興のための施策に関する基本的な計画を策定する必要があると考えます。また、学習指導要領の改訂により、小学校平成23年、中学校24年の完全実施に向け、今年度から始まる移行期の取り組みを着実に推進することが重要であると考えます。さらに、今後に向けて教育力の向上を図ることが大切であり、優れた教員の確保が必要です。また、子ども達の体力向上に向けた意識向上と意欲の喚起をはかる必要があると考えます。

### 2 平成21年度 5つの戦略施策

施策項目		施策概要	施策目標	市長マニフェスト
1	教育振興基本計画の策定準備	教育委員会は、目指すべき教育の姿として、「学校教育ふじさわビジョン」・「生涯学習ふじさわプラン」の見直しを図りながら教育振興計画の策定に取り組めます。	藤沢における教育の充実	
2	(仮称)藤沢教師塾の設立	小学校教員を目指すものに、藤沢市の特色ある教育活動を紹介するとともに実践的な研修・指導を行い、優れた教員の確保を進めます。	優れた教員の確保	◎
3	学校教育の充実	新学習指導要領の完全実施に向けて、移行期の取り組みを着実に推進します。内容が充実されたことに伴い、必要となる教材教具の整備や外国語活動協力員の配置を行います。また、県の教育課程説明会や市教育委員会の学校訪問を実施し、管理職や教員への周知を図ります。	学習指導要領移行期の教育の充実	
4	特別支援学級の新設	特別支援学級の大規模解消及び通学範囲の適正化を図るため、一校当たりの在籍数の多い、西部地区と村岡地区の小学校に特別支援学級を開設します。	特別支援教育の推進	
5	体力テストの実施	子ども達の体力テストを効率よく行うために測定補助員の派遣及び測定器具の貸出しを行うことで支援を強化充実し、テストの全校実施を目指します。	体力テストの全校実施	◎

(市長マニフェストに該当する施策には「◎」を表記)

# 藤沢市部長経営戦略宣言2009

「一生住み続けたいまち湘南藤沢」を創造するため、藤沢市教育委員会教育総務部では、教育長との合意のもと、平成21年度の政策目標を次のとおり決めました。1年間を通し、目標達成に向け、組織一丸となった取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。



平成21年 5月 1日

藤沢市教育委員会 教育総務部担当部長 村岡 泰孝

## 1 目標設定にあたっての基本的な考え方

教育を取り巻く社会状況はめまぐるしく変化しており、学校教育と生涯学習（社会教育）のわくを超えて様々な施策を展開しなければなりません。さらに、地域との連携強化や教育委員会と市長部局の連携も求められています。明日の藤沢を担う子どもたちのために、着実かつ迅速な諸施策に取り組みます。

## 2 平成21年度 5つの戦略施策

	施策項目	施策概要	施策目標	市長マニフェスト
1	市長と教育委員会との連携を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と教育長との定期的な懇談を行い、地域の状況や学校の状況等について意見交換を行います。</li> <li>・市長と教育委員との定期的な懇談を行います。</li> <li>・市長の学校訪問を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と教育長 毎月</li> <li>・市長と教育委員 年4回以上（4半期に1回以上）</li> <li>・市長の学校訪問 年10回以上</li> </ul>	◎
2	教育委員会各事業の進捗状況管理を行います。	教育委員会の平成21年度の施策については、教育政策推進課事業をはじめとして新規施策が多く、総合的な進行管理が求められています。そこで、定期的に教育長に事業の進捗報告を行います。	毎月教育長に事業毎に報告します。	
3	地域との連携強化を図ります。	（仮称）学校支援コーディネーター事業（*）について、三者連携事業やおやじの会など既存の仕組みとの整合性を図りながら、事業を構築し地域連携の強化を図ります。	コーディネーター制度を導入するための調査研究を行い、モデル校を選定します。	◎
4	既存学校施設的环境に配慮した整備方針を策定します。	平成20年度に実施した「既存学校施設における環境対策推進支援事業」報告書をもとに、学校施設的环境に配慮した整備方針を策定します。整備にあたっては、環境関連の補助金の獲得を目指します。また学校施設整備にあたっては必ず市民活用できる施設とし有効活用を図ります。	環境に配慮した学校施設の整備方針を策定します。	
5	他部門との調整が必要な事業の円滑な実施を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食地産地消推進事業（経済部）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわ産品学校給食デーを3回実施します。</li> <li>・経済部からの情報提供を受け献立作成に活用します。食育教育に役立ちます。</li> </ul>	◎

（\*）学校支援コーディネーター＝学校と学校で活動しているボランティアとの橋渡し及び調整等の仕組みづくり

（市長マニフェストに該当する施策には「◎」を表記）

## 藤沢市部長経営戦略宣言2009

「一生住み続けたいまち湘南藤沢」を創造するため、藤沢市教育委員会生涯学習部では、教育長との合意のもと、平成21年度の政策目標を次のとおり定めました。1年間を通し、目標達成に向け、組織一丸となった取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。



平成21年 5月 1日

藤沢市教育委員会 生涯学習部長 青柳 茂

### 1 目標設定にあたっての基本的な考え方

「生涯学習とは、いつでも、どこでも、誰でも生涯にわたって学ぶことです。それは自己充実や、生活の向上に役立つことであり、自分に適した手段・方法を選び、自らすすんで行うことです。」この生涯学習ふじさわプランの基本方針に示された生涯学習の推進にあたって、さまざまな学習環境の整備を図るとともに、生涯学習課（公民館）、文化推進課、総合市民図書館、スポーツ課それぞれに係わる事業の着実な進行を目指します。

### 2 平成21年度 5つの戦略施策

	施策項目	施策概要	施策目標	市長マニフェスト
1	生涯学習ふじさわプランの見直し事業	現在の生涯学習ふじさわプランは、平成11年度に策定され、10年が経過しようとしております。この間、100年に1度といわれる金融、経済不況等社会情勢の大きな変化、平成21年度及び平成22年度における総合計画の見直し予定、教育基本法の改正による教育振興基本計画の策定など、このプラン策定時から環境が大きく変わり、プランの見直しが求められております。これらの状況を踏まえ、今年度については、見直しの基礎資料となる現行プランの検証（効果測定）を実施します。	現行プランの検証（効果測定）の実施	
2	おやじの会（おやじネット）の創設事業	子どもたちのいじめや問題行動などの解決を図るため、学校、地域、家庭が一体となって取り組む必要があります。地域のお父さんが参画することにより、学校と地域のつながりを強化し、地域全体で学校を支えるおやじの会（おやじネット）を立ち上げ、その交流の場として（仮称）「おやじの会連絡会」を設置します。平成21年度設置率60%を目標（平成20年度38%〔小学校13校（37%）、中学校8校（40%）〕）	（仮称）「おやじの会連絡会」の設置及びおやじの会（おやじネット）の設置 目標60% （小・中・特別支援学校計55校中33校）	◎
3	公共施設の広域連携事業（資産の有効活用）	近隣市・町にある図書館やスポーツ施設等が、本市の施設と同様に利用できるよう近隣市・町と広域連携を図る中で行政サービスの効果的執行、資産の有効活用を図ります。	近隣市・町との協議会設置	◎
4	市民のスポーツ推進事業（自主財源の確保）	ビーチバレー発祥の地である湘南藤沢を全国に発信するとともに、市民のスポーツの一層の発展を期して総務省の「スポーツ拠点づくり推進事業」の指定を受け中学生による全国大会を目指し、今年度は第2回ビーチバレー中学生関東大会を開催します。	第2回ビーチバレー中学生関東大会の開催	
5	市民文化推進事業	市民主体の市民文化の普及と向上をより一層推進するため、市民との共同企画による（仮称）「藤沢音楽祭」を開催します。	（仮称）藤沢音楽祭の開催	◎

（市長マニフェストに該当する施策には「◎」を表記）

## 藤沢市部長経営戦略宣言2009

「一生住み続けたいまち湘南藤沢」を創造するため、藤沢市教育委員会生涯学習部(文化推進課)では、教育長との合意のもと、平成21年度の政策目標を次のとおり定めました。1年間を通し、目標達成に向け、組織一丸となった取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。



平成21年 5月 1日

藤沢市教育委員会 生涯学習部担当部長 須藤 公夫

### 1 目標設定にあたっての基本的な考え方

今日、内面的な豊かさを求めていく時代を迎え、その質的な向上にきめ細かく関わることが重要になってきています。こうした価値観の転換を考えるうえで、時に大きな意義を持ってくるであろうと思うのが文化行政であります。文化には、人々に元気を与え地域を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力があると言われていています。こうした地域の人と人、人と文化をつなぎ、さらには観光や経済活動にも大きな刺激を与える文化のもつ力＝「文化力」を発信できるよう支援していくことが地方自治体の大きな役割であろうと考えます。このような観点にたって、次の諸施策に取り組みます。

### 2 平成21年度 5つの戦略施策

	施策項目	施策概要	施策目標	市長マニフェスト
1	藤沢音楽祭の開催	市民主体による市民文化の普及と向上をより一層推進するため、市民との共同企画による「藤沢音楽祭」を開催します。	市民参加による音楽の祭典として親しまれる音楽祭を目指します。	◎
2	湘南台文化センターの指定管理者制度導入に向けた検討・準備	湘南台文化センター(市民シアター・子ども館)の指定管理者制度導入に向けた諸準備(施設改修)及び検討を行います。	施設の効率的な運営、利用サービスの向上を図ります。平成23年度からの導入を目指します。	
3	出資関係3団体の統合に向けた準備	3団体(芸術文化振興財団、・青少年協会・スポーツ振興財団)の統合に向けた諸課題(執行体制など)について、当該団体・関係指導課と最終調整を行います。	平成22年度に3団体の合併、統合を目指します。	
4	湘南台文化センター・プラネタリウムの利用者拡大	プラネタリウム機器を本年度更新し、7月リニューアル・オープンにより利用者の拡大を図ります。	利用者数を年間平均5万1千人の3割増を目指します。	
5	ネーミングライツの導入準備	文化施設におけるネーミングライツ導入に向けて、資産経営課と具体的な導入方法等について検討し、早期の実現を目指します。	施設の管理運営や施設整備資金の調達による財政負担の軽減を図ります。	

(市長マニフェストに該当する施策には「◎」を表記)